



四・二六 同盟の形成→強化という方向を示す。二八安保、沖繩闘争を経て、米帝との協調の下、六五年日韓条約を契機として進出を開始した日帝は、国内再編を企及し、企業の大規模合併、台理化、融募頭、大学の直接的間接的支配体制の強化等、行政権の肥大化、農業、運輸等すべての面において進行させている。

七〇年安保紛争の闘いは、昨年一〇・二二防衛庁→新宿→御堂筋闘争で、その第一歩を形成した。ベトナム問題を中心に進行していた世界的な反戦闘争が、昨年四月のジョンソン声明後、若干の後退をいられて来た。それは、明確に現在の闘いが一般的な反戦意識をもっては、ベトナムの革命戦争を理解できないし、自からの問題として、ベトナム人民との結合は不可能となった。ベトナム人民との闘う結合は、各国に於る自国帝国主義打倒の闘いを通じてのみ貫徹されることであつた。

# 政府中枢との闘い

—長 善—

## 学内問題と政治問題の結合を

として示される侵略前線基地化の確定である。また日本への核持ち込み→核防衛として示される。

四・二二の機動隊の学館乱入、東大→日大→中大をはじめとする学園闘争が明らかにしたことは、個別学園闘争が個別学園の枠を突破する質を持っている。否、突破せざるをえない現在の社会関係→政府、資本と学校当局→なのだ。四・三〇団交は、教授

一五団交には、権力に対する抗議、再編、その内実としての中教審、と学校当局の本質を問いつめる数々の全面的に問いつめるものとして、千名の学友が参加した。当局の首脳陣が、大学の自治、教育、研究の現在の内実が何んであるのかを一切持ちえていないことが明らかになった。

同時に、教授会→権力に対する全学バリケードスト処分問題、学生部→解体、廃止まで問題が煮詰められていった。明治が持つ

四・二八安保、沖繩闘争を経て、米帝との協調の下、六五年日韓条約を契機として進出を開始した日帝は、国内再編を企及し、企業の大規模合併、台理化、融募頭、大学の直接的間接的支配体制の強化等、行政権の肥大化、農業、運輸等すべての面において進行させている。

七〇年安保紛争の闘いは、昨年一〇・二二防衛庁→新宿→御堂筋闘争で、その第一歩を形成した。ベトナム問題を中心に進行していた世界的な反戦闘争が、昨年四月のジョンソン声明後、若干の後退をいられて来た。それは、明確に現在の闘いが一般的な反戦意識をもっては、ベトナムの革命戦争を理解できないし、自からの問題として、ベトナム人民との結合は不可能となった。ベトナム人民との闘う結合は、各国に於る自国帝国主義打倒の闘いを通じてのみ貫徹されることであつた。

現代世界が、先進国→後進国「労働者国家」という三ブロックの結合した闘いを要請しているし、それ故、全世界的な自国帝国主義打倒の闘いが形成されている。米帝、日本との間に表現される帝国主義の不均等発展→世界分割は、ショナリズムで結

出現している関係から、国際的な反革命同盟の形成→安保、NATO 相談議等を通じて政治的、経済的な一として現出している。それは相

### 学生会中執

そのものとしてあるということも明らかになった。

東大→日大→中大をはじめとする学園闘争が明らかにしたことは、個別学園闘争が個別学園の枠を突破する質を持っている。否、突破せざるをえない現在の社会関係→政府、資本と学校当局→なのだ。四・三〇団交は、教授

一五団交には、権力に対する抗議、再編、その内実としての中教審、と学校当局の本質を問いつめる数々の全面的に問いつめるものとして、千名の学友が参加した。当局の首脳陣が、大学の自治、教育、研究の現在の内実が何んであるのかを一切持ちえていないことが明らかになった。

同時に、教授会→権力に対する全学バリケードスト処分問題、学生部→解体、廃止まで問題が煮詰められていった。明治が持つ

四・二八をわれわれとともに、米軍政打倒、米軍基地撤去として闘うことが明らかになっている。これこそ、七〇年安保紛争の闘いであるし、学園闘争勝利に向けた闘いであるのだ。四・二六→二八安保→沖繩闘争を全学ストで闘い、政府中枢に向けた徹底した闘いを展開せよ、その内実を持って四・三〇団交を圧倒的に勝ち取るよう、